

ALLwatch Tips

2011 年 1 月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニターサービスの総称です。

遠隔監視装置の定期点検時の動作チェックについて

定時検査時に遠隔監視装置のテストをされる方もありますので参考にテスト方法と注意点を述べます。

I、試験装置

漏電遮断器試験装置

II、試験方法

試験前に電源ランプと試験ランプが点灯していることを確認して下さい。

(1) 測定値のテスト

- ① 試験装置により 50mA 50Hz/60Hz の電流を流して下さい。
- ② 電流が安定したら本体右側のテストスイッチを押して下さい。
- ③ データランプが点滅することを確認したら電流を止めてください。
- ④ 通報先の携帯電話にデータが届いたらデータ内容を確認します。
- ⑤ 数値が 50mA $\pm$ 10%以内を示せば合格です。

(2) 停電発報テスト

- ① バックアップ用電池が挿入されていることを確認して下さい
- ② 本体の電源を切断して下さい。
- ③ データランプが点滅したことを確認して下さい。
- ④ 通報先の携帯電話又は管理センターに停電警報が届いたことを確認します。
- ⑤ 通信が出なかったらバッテリーの消耗と思われるので交換してください。

(3) 警報の通達テスト

- ① 本体右側にあるテストスイッチ(緑色マークのボタン)押して通報先に設定された携帯電話又は管理センターに通報が出れば合格です。

III、試験上の注意点

(1) 測定値のテスト

漏電値計測の増幅器の 0～フルスケール応答時間は約 30 秒です。

従って計測値を読取る時は電流を流し始めてから 60 秒は待つ必要があります。

(2) 漏電発生遅延時間は 60 秒以上に設定して下さい。

遅延時間をあまり短くすると外部要因による意図しない警報が飛ぶことがあります。

(3) 通信のテストは毎時 00 分から 5～7 分間は避けてください、通報が遅れることがあります。(特に電力需要が増える時期)

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30～17:30 (12:15～13:00 を除く))